

| | |
|--|--------------|
| 実施日： 7月19日（4校時）・2月7日（4校時） | |
| 領 域： 学級活動 | |
| 取組名： ○○を合わせよう | |
| 対 象： 4年生 | 実施場所： 多目的ホール |
| ア ねらい ・ 「息」や「心」などを合わせる活動を通して、他者を理解しようとする態度を養う。 | |
| イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 【児童・学級の実態】 ・ 先生や友だちの話を集中して聞くことが苦手な児童が多い。 ・ 自尊心が低く、できないことがあるとすねてしまう児童が複数いる。 ・ 相手の立場や気持ちを押し量ることが苦手な児童が多い。 【第1次 「○○を合わせよう」の学習】 ・ 「あったらいいなこんな学級」をふり返る。 ①授業の約束（・「聞き方名人」 ・話している人の声に自分の声を重ねない） ②4年生の決めた目標（・いやな言葉を言わない ・授業に集中する） ・ 「○○を合わせる」活動に取り組む。 （・人間時計 ・友だちビンゴ ・しゃべっちゃダメよ ・スパイをさがせ ・学級写真） ・ ふり返りをさせ、楽しい雰囲気で行われるようにする。 | |
| ウ 連携先： 校内研修、家庭 | |
| エ 連携にむけての取組 ・ 他者理解につながる「話の聞き方」を校内研修の重点目標に位置づけ、各学級で実践する。 ・ 本時の様子を校内研修で報告し、取組の成果を校内で還流させる。 ・ 本時の様子を学校だよりや学級通信等に掲載し、肯定的な人間関係を築いていこうとする取組を家庭に知らせる。 | |
| オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 ・ 月に1・2回程度、「児童理解の会」を開催し、言葉づかいや「話の聞き方」を含めた学級の様子について点検・評価を行う。 ・ 児童のふり返り等を活用し、校内研修で活動の点検・評価をする。 ・ 学期に1回程度行う「授業アンケート」で人権意識について、他者理解につながる「話の聞き方」について点検・評価を行う。 | |
| カ 評価の方法 ・ ワークシート、アンケート | |
| キ 成果 ・ 「あったらいいなこんな学級」の次時として行うことで、学級・児童の実態に即し、系統立てた指導とすることができた。 ・ 楽しい雰囲気での学習を終えることで、仲間意識を深めることができ、他者理解につながった。 | |
| ク 課題 ・ 本時で学習した人間関係活性化の取組を、各学級担任にも還流し、継続的に取り組んでもらう必要がある。 | |